

兵庫県のり漁場環境情報（西播海域 5 号）

2025年11月21日発行
兵庫のり研究所

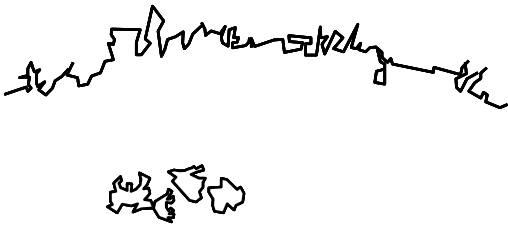
海域全般に、大型珪藻コシノディスカスは確認されますが、発生量は前回(11/10)よりも減少しています。また、赤穂漁場では小型珪藻のキートセロスがやや多く発生しています。窒素は、陸水等の影響が見られる地点(伊保・沖、網干)を除き西播地先で1 $\mu\text{g at/L}$ 前後、沖合漁場で概ね1～2 $\mu\text{g at/L}$ 台の値となっています。

(珪藻ほか)

海域全般に、大型珪藻コシノディスカスの発生量は減少していた。各海域のコシノディスカス発生量は海水1Lあたり、西播地先で100～900細胞（前回値：500～1,400細胞）、沖合漁場東部で30細胞前後（前回値：400～500細胞）、沖合漁場西部で100～300細胞（前回値：400～600細胞）であった。また、赤穂漁場では小型珪藻のキートセロスがやや多く確認され、発生量は海水1mlあたり1,000細胞前後であった。

その他の海域では、小型珪藻はほとんど確認されなかった。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	0.8	1.4	3.9	0.7
	リン	0.37	0.40	0.59	0.35
家島・坊勢	窒素	1.4	1.7	4.8	3.0
	リン	0.46	0.50	0.68	0.60

(11/10) (11/22)

栄養塩（窒素）図

2025年11月21日調査

